

日羽協試験方法	グレー羽毛混入率試験方法	JDFA-TM003 2018/12
---------	--------------	-----------------------

## 序文

日羽協が定める羽毛の色（グレー、ホワイト、ピュアホワイト）表示に必要となる、グレー羽毛混入率を求める試験方法及び表示基準を定める。

引用資料：

IDFB Part 16 Color Separation

## 1. 装置

- (1) 組成選別用キャビネット（作業スペースの背景を紙などで白色にしたもの）もしくは同様の選別作業ができる白色背景のボックスなど
- (2) ピンセット
- (3) 電子はかり（電子天びん） 0.2mg までひょう量できるもの。
- (4) ビーカー
- (5) 汚染用グレースケール（JIS L 0805）

## 2. 試料の準備

試験に用いる羽毛は、日羽協試験方法（JDFA-TM001 試験のためのサンプリング方法）によって採取し、均一に混合する。試料を標準状態の試験室で、空気が通過しやすく羽毛が飛散しないような容器に収納し、恒量になるまで放置する。

## 3. 試験試料の採取

2. で準備された試料から、表示に基づく所定の試験試料 2 個以上を上層、中層、下層の各部分からランダムに採取する。

羽毛色の表示	試験試料質量
グレー	3g×2 個
ホワイト	
ピュアホワイト	10g×2 個

## 4. 試験手順

- (1) 試験試料は、グレー表示又はホワイト表示の場合は約 3 g を 2 個、ピュアホワイト表示の場合は約 10 g を 2 個で行う。ただし、試験結果によって試験試料を追加する場合もある。
- (2) 組成選別用キャビネットもしくはボックスの白色背景の上に試験試料を広げ、ピンセットで混入している有色のダウン及びフェザー等をすべてビーカーの中に拾い出す。この時、ダウンやフェザーに付着しているファイバーやきょう雑物をきれいに取り除く。
- (3) 一個のダウン或いはフェザーの一部でも、グレーやブラウン、黒など天然の着色があるものはグレー羽毛に含める。ただし、グレー表示又はホワイト表示の場合は、赤や青などの人工的に着色したもの及び黄変やひな羽根などの黄ばんだものはグレー羽毛に含めない。ピュアホワイト表示の場合は、赤や青などの人工的に着色したものはグレー羽毛に含め黄変やひな羽根などの黄ばんだものはグレー羽毛に含めない。
- (4) グレーの色濃度は、JIS L 0805 汚染用グレースケールを用いて判定し、グレースケールの 3 - 4 級以下はグレー羽毛とする。
- (5) 全てのグレー羽毛の選別が終了したら、グレー羽毛の質量 ( $W_a$ ) およびグレー以外の試料の質量 ( $W_b$ ) をそれぞれひょう量する。

## 5. 試験結果

- (1) 次の式によってグレー羽毛混入率を求め、試験試料 2 個の平均値で表す。ただし、平均値は、グレー及びホワイト表示の試験試料 3g の場合に小数点以下 1 桁に丸め、ピュアホワイト表示の試験試料 10g の場合に小数点以下 2 桁に丸める。

$$\text{グレー羽毛混入率 (\%)} = \frac{W_a}{W_a + W_b} \times 100$$

$W_a$  : グレー羽毛の質量 (g)

$W_b$  : グレー以外の試料の質量 (g)

- (2) グレー及びホワイト表示の試験結果で、2 試験試料の値に 0.5%以上の差があった場合は、さらに 1 試験試料の追加試験を行い、3 個の平均値で表す。
- (3) ピュアホワイト表示の試験結果で、2 試験試料のうち、少なくとも 1 個の値が 0.05%を超えた場合には、さらに 1 試験試料の追加試験を行い、3 個の平均値で表す。ただし、2 試験試料の値が共に 0.05%を超えている場合は、2 個の平均値で表す。

## 6. 日羽協表示基準

表示用語	グレー羽毛混入率基準	備考
グレー	1.5%を超える	グレー羽毛混入率が明らかに 1.5%を超える場合は試験を省略できる。
ホワイト	1.5%以下	グレー羽毛混入率が 0.05%以下でもピュアホワイト表示はできない。
ピュアホワイト	0.05%以下	グレー羽毛混入率が 1.5%以下の場合にはホワイト表示ができる。 グレー羽毛混入率が 1.5%を超える場合はグレー表示ができる。

以上 (2018/Dec/12)